

# 令和6年度 助産師の資質向上・確保対策に関する実態調査（病院）

こちらのリンクをクリックして、本ファイルを添付して回答

## 担当者情報

施設名、調査票を記入した方の役職、氏名等を記入してください。

施設名		役職		氏名	
地区		電話番号			
		E-mail			

## 1. 基本情報（令和7年1月1日現在）

貴院の分娩状況について、回答をご記入ください。

(1) 産科関連取扱状況について

1 分娩取扱中	2 妊婦健診等のみ	3 婦人科のみ	4 産科・婦人科両方休止中
---------	-----------	---------	---------------

回答欄	4の場合、休止時期

(2) 分娩件数や病棟や病床数について ※件数がない場合は、0をご記入ください。

年間分娩件数(R6.1.1~R6.12.31)	件	再掲) 無痛分娩件数	件	再掲) 帝王切開件数	件
産科病棟について	産科病床	床	混合病棟	床	うち産科病床
					床

## 2. 貴院の産科・産婦人科の状況について

(1) 職員数について（令和7年3月31日時点） ※令和7年3月31日付退職者も含む 単位：（人） ※産休・育休者は除く

医師数 (産科・産婦人科)		助産師数			
		病院全体		再掲) 産科病棟	
実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算

(2) 令和7年3月31日時点で産科病棟以外に配属されている助産師の配属部署の実人数をご記入ください。

- ① 外来（産婦人科） 人 ② NICU・GCU 人 ③ 小児科系病棟 人  
 ④ 一般外来 人 ⑤ 内科系病棟 人 ⑥ 外科系病棟・手術室・ICU 人  
 ⑦ 地域連携室・健康管理室 人 ⑧ 管理部門（看護部） 人 ⑨ ( ) 人

**助産師業務を行っていない場合は、実態調査終了となります。**  
**助産師の資質向上・確保対策に関してご意見等ございましたら、調査最後の自由記載にご記入ください。**

## 3. 院内助産・助産師外来について

※本調査での「院内助産・助産師外来」は、「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」に基づくものとします。  
 （産科医師が健康診査を行う場合は、含まないものとします。）

(1) 院内助産・助産師外来の設置状況等について、回答欄に記入願います。

3以外選択の場合は今後の設置予定を、4選択の場合は実施状況(定期・不定期)をご記入ください。

設置している	1 院内助産	2 助産師外来	3 両方設置
4 保健指導のみ実施(※)	5 設置していない		

※医師が健診を行い、助産師が保健指導、乳房ケア等を行っている場合

回答欄	今後の設置予定等
	院内助産
	助産師外来
	保健指導
	保健指導

(2) (1) 『設置している(1~3)』と回答した場合、下記内容について具体的に記入願います。

	取扱件数 (R6.1.1~R6.12.31)		配置人数		ホームページでの 公表可否
	件	件	専任 人	兼任 人	
院内助産					
助産師外来					

## 4. 助産師の確保・定着状況について

(1) 助産師の確保状況について

1) 貴院における、必要な助産師配置状況について該当するものに○を選択ください。

1 助産師を確保できている  2 助産師が不足している  →  人程度不足

上記1)で「助産師が不足している」と回答した場合、不足状況や要因を具体的に記入ください。

例) 応募者が少ない、産休・育休取得等による人員不足、新人等のスキルアップ・指導に時間が必要など

(2) 令和7年3月31日時点の助産実践能力習熟段階レベルIII認証制度（CLoCMip）の状況をご記入ください。

CLoCMip取得者数  人 令和6年度新規取得者数  人 令和6年度未更新者数  人

(3) 定年退職者以外の方について、貴院での経験年数別に退職の理由に該当する人数をご記入ください。(複数回答可)

	1年未満 (新卒)	1年未満 (既卒)	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	合計
1 結婚、妊娠								0
2 育児、家族の介護								0
3 地理的な理由 (通勤時間がかかる等)								0
4 配偶者の転勤								0
5 リターン(親元に帰る)								0
6 身体の健康上の理由								0
7 精神の健康上の理由								0
8 自分の適性・能力への不安								0
9 進学・留学								0
10 看護職免許を生かした 他分野への興味・転向								0
11 看護職以外の仕事への興味・ 転向								0
12 処遇(給料、手当面)								0
13 超過勤務が多い・長時間労働								0
14 緊張感の持続等による 質的な労働負担								0
15 職場の望む勤務形態への 不適合(夜勤など)								0
16 分娩介助経験が積めない								0
17 助産師業務ができない (他科患者の受持が多い等)								0
18 上司・同僚等職場の人間関係								0
19 その他 →具体的な内容を記入ください								0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

### 5. 助産師の活躍促進について

(1) 貴院で助産師の人材育成に関する取り組みについて、力を入れている3項目を回答欄に記入願います。

1 助産に関する研修参加	2 助産領域以外の研修参加
3 合併症やリスク妊婦への対応に関する研修企画や参加	4 NICU、GCU等へのキャリアローテーション
5 産科がある系列病院への異動や出向、研修	6 正常分娩介助経験のため出向
7 助産師クリニカルリーダーを活用した人材育成	8 産後ケア実務助産師研修への参加
9 その他 ( )	

回答欄

(2) 地域との連携について、貴院の状況で該当するものに○を記入願います。

項目	①実施している	②今後予定あり・ 検討中	③今のところ 予定はない
1 産後ケア事業 上記で①②と回答した方は、該当する事業に○をご記入ください。 宿泊型      デイサービス型      アウトリーチ型(訪問型)			
2 産婦健康診査(産後2週間、産後1か月等)			
3 出前授業の講師派遣 上記で①②と回答した方は、出前授業の対象者と内容をご記入ください。 対象者      例) 中学生・高校生、企業等      内容      例) 看護師の仕事に関する講義、プレコンプレッション等			

(3) 助産師活用や人材育成等に関する情報交換会について

1) 情報交換会への参加意向について記入願います。

※令和6年度は、産科を標榜する病院・助産所の看護管理者等を対象に開催しました。

令和7年度は下記2)の回答をもとに、看護師長等の責任者を参集し開催する予定です。

1 参加意向あり	2 参加意向なし	3 どちらともいえない
----------	----------	-------------

回答欄

2) 上記1)で「1参加意向あり」と回答した方は、情報交換会のメンバーや内容・テーマ等、希望があれば記入願います。

--

(4) 助産師の資質向上や活躍推進について、必要な取り組みや地域と連携した取り組み等、ご意見がありましたら記載願います。(自由記載)

--

ご協力ありがとうございました。